

計画事業番号	00213	事務事業名	外国語指導助手活用事業	担当部署	教育部学校教育課	電話	内線4822
--------	-------	-------	-------------	------	----------	----	--------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	平成3年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進	
	(施策 7) 社会の変化や課題に対応した教育の推進	
2 対象	市立小中学校の児童生徒	
3 目的と内容	児童・生徒の英語発音やコミュニケーション能力、国際理解の育成向上を目的に各学校の外国語授業等に英語指導助手(ALT)を派遣し、外国語授業等の充実を図る。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	英語指導助手4名を任用し、中学校の外国語授業及び小学校の外国語活動を教員とともにチーム・ティーチング形式で行う。
	29年度	昨年度と同様であるが、英語指導助手4名を任用し、中学校の外国語授業及び小学校の外国語活動を教員とともにチーム・ティーチング形式で行う。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
英語指導助手4名を計画的に各小中学校に派遣	・英語指導助手を4名配置 ・小学校派遣 指導時数1,137時間(校時) ・中学校派遣 指導時数1,075時間(校時)	英語指導助手4名を計画的に各小中学校に派遣	英語指導助手5名を計画的に各小中学校に派遣	英語指導助手5名を計画的に各小中学校に派遣

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。【2016推進計画にて拡大】	
1次評価	拡大	学習指導要領の改訂により、小学校における外国語(英語)の指導時数が増となることに伴い、指導助手の増員により充実した授業を行っていく。【2017推進計画で拡大要求済み】	
2次評価	保留	2017推進計画の決定による。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			15,465		15,676		22,905		22,220	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	15,465		15,676		22,905		22,220	
	① 合計	15,465		15,676		22,905		22,220		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	1,680	0	1,680	0	
総事業費①+④			17,145		17,356		24,585		23,900	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
活動指標	①小学校でのALTによる年間指導時数	目標値	校時	1,165		1,165		1,165		1,165	
		実績値		1,137							
	②中学校でのALTによる年間指導時数	目標値	校時	1,100		1,100		1,100		1,100	
		実績値		1,075							
③全小学校における年間外国語活動時数	目標値	校時	1,295		1,295		1,295		1,295		
	実績値		1,236								
④中学校における年間外国語授業時数	目標値	校時	8,260		8,260		8,260		8,260		
	実績値		8,210								
成果指標	①(小)ALTによる指導時数割合 【指標の定義(算式等)】	目標値	%	90		90		90		90	
		実績値		92							
	②(中)ALTによる指導時数割合 【指標の定義(算式等)】	目標値	%	25		25		25		25	
		実績値		13							
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値									
		実績値									

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	国際化社会に対応するため、特に英語でのコミュニケーション能力の向上が求められており、ほとんどすべての自治体に配置されている。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	学校との協議により、現状の人員を最大限効率的に活用できるように調整して派遣している。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	英語が堪能な退職者等にボランティアで協力していただくことができれば、より多くの成果が期待できる。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	ネイティブとの会話以上に効果が上がる学習方法は、現状では考えられない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	--

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--